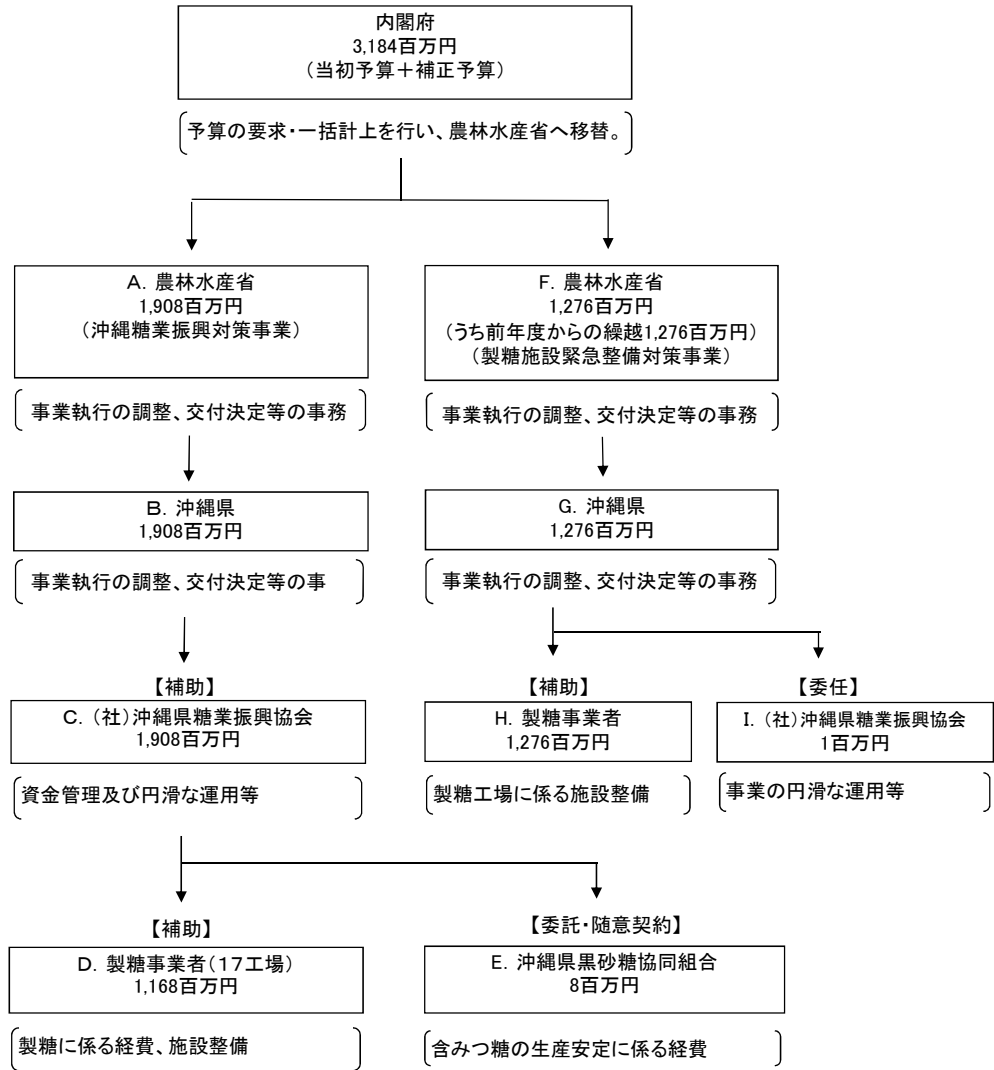


平成23年 行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	糖業振興費		担当部局庁	沖縄振興局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	事業開始：昭和47年 事業終了：未定		担当課室	参事官(振興第二担当)		岩片 弘信		
会計区分	一般会計		施策名	9. 沖縄施策の推進				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	沖縄振興特別措置法第105条第3項 沖縄振興特別措置法施行令第38条第4項		関係する計画、通知等	沖縄振興計画				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	沖縄県の製糖業は、地理的、自然的、社会的条件が不利なことから、諸外国に比べその生産条件格差が著しく、また、原料さとうきびの生産が気象災害等の影響を受けやすく、そのことが製糖業の経営を著しく不安定なものとしている。このため、生産条件格差の不利を補正するための助成措置、気象災害等がその経営に及ぼす影響を緩和するための助成措置等を講ずるものである。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	沖縄県内の製糖事業者に対し、含みつ糖の標準的なコストと販売価格の差額や気象災害等によるコストの増加分、環境対策や省エネルギー対策に資する施設整備等に対する一部補助。 補助率：2/3、1/2、定額							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位：百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	1,948	1,929	1,929	2,198	2,198	
		補正予算	-	1,396	1,382	0		
		繰越し等	-	-	1,355	1,334		
		計	1,948	3,325	4,666	3,531	2,198	
		執行額	1,824	1,852	3,184			
	執行率(%)	94%	56%	68%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (27年度)
	さとうきびの生産量		成果実績	t	881,936	879,657	820,403	950,000
			達成度	%	93%	93%	86%	
	沖縄県内の製糖工場による産糖量		成果実績	t	104,229	115,565	110,773	117,230
		達成度	%	89%	99%	94%		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	施設整備を行った工場の件数		活動実績 (当初見込み)	工場	8工場	8工場	10工場	— () ()
単位当たりコスト	24.98 (円/さとうきび面積(m ²))		算出根拠	さとうきび及び甘しや糖生産実績(沖縄県)の収穫面積に対する予算額(平成22年度執行額)。 平成21/22年期収穫面積：12,747ha → 127,470,000m ²				
	3.88 (円/さとうきび生産量(kg))		算出根拠	さとうきび及び甘しや糖生産実績(沖縄県)の収穫面積に対する予算額(平成22年度執行額)。 平成21/22年期さとうきび生産量：820,403t → 820,403,000kg				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	沖縄糖業振興対策費補助金	2,198	2,198					
	計	2,198	2,198					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	・執行率が低い理由として、平成22年度補正が23年度に全額繰り越されているためであり、次年度に繰り越された金額を除くと執行額は97%となるため、実際の不用率も低い状況である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>製糖産業は、沖縄県農業において非常に重要な位置を占めているが、さとうきびから砂糖(粗糖または含みつ糖)を生産する製糖企業の経営状況は厳しく、製糖施設については老朽化が進み、耐用年数を過ぎたものが数多く使用されているものの、新たな施設整備が難しい状況となっている。</p> <p>特に離島においては、さとうきび生産農家が多くを占めており、製糖業は島内において非常に重要な産業となっていることから、製糖工場の施設整備を図り、経営の合理化を図りつつ操業を続けることは地域農業の振興及び地域活性化を図る手段の一つとなっているため、今後とも、製糖施設の改修は必要と考える。</p> <p>今後、含みつ糖製造事業者の経営安定を図っていくためには、含みつ糖の安定供給や品質の向上等に向けた共同取組を推進していく必要がある。</p> <p>なお、22年度執行率は68%であるが、22年度補正にて計上された補助金1,382百万円が含まれており、同補正については全額23年度に繰り越しを行っている。</p> <p>このことから、22年度補正を除いた予算額は3,284百万円となり、執行額3184百万円の執行率は97%となる。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>事業実施省庁の見直し状況も踏まえ、地域の実情や事業の進捗状況を的確に把握し、今後の事業計画を検討すべき。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>予算監視・効率化チームの所見を踏まえ、適正な予算の執行に努めたい。</p>			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p>内閣府では、農林水産省の担当者とともに沖縄県等からヒアリングを行い、また、現地にて視察等を行い、執行状況について把握している。(平成21年度行政事業レビューにおける予算監視・効率化チームの所見)</p> <p>事業の進捗状況を的確に把握し、今後の事業計画を検討すべき。</p>			

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補足
する) (単位: 百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごと
 に最大の金額が支出され
 ている者について記載す
 る。費目と使途の双方で
 実情が分かるように記
 載)

A.農林水産省			E.沖縄県黒砂糖協同組合		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
補助金の類	沖縄県が実施する製糖事業者への補助事業に対する補助	1,908	外部委託	高付加価値化した含みつ糖を開発するための経費	3
			人件費	含みつ糖工場の技術向上を図るための指導・調整	2
			謝金	含みつ糖工場の技術向上を図るための技術者への謝金	1
			旅費	含みつ糖工場の技術向上を図るための技術者及び事務局の旅費	1
			その他	役務費、需用費、雑費、使用料及び賃借料	1
計		1,908	計		8
B.沖縄県			F.農林水産省		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
補助金の類	事業実施主体が実施する製糖事業者への支援事業等に対する補助	1,908	補助金の類	製糖工場の施設整備に対する補助	2,610
計		1,908	計		2,610
C.(社)沖縄県糖業振興協会			G.沖縄県		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
補助金の類	製糖事業者への補助	1,168	補助金の類	製糖工場の施設整備に対する補助	1,277
基金造成	気象災害による製糖業者の製造経費高騰を緩和するための基金造成	725			
外部委託	含みつ糖の高付加価値化や工場の技術指導を実施するための経費	8			
人件費	補助金交付事務、基金の運営管理	5			
その他	旅費、使用料及び賃借料、役務費、需用費	2			
計		1,908	計		1,277
D.製糖事業者(17工場)			H.製糖事業者		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
その他	製品(粗糖、含蜜糖)の製造コストと製品の販売価格の差に充当	807	施設整備	製糖工場の施設整備	1,276
施設整備	製糖事業者の施設整備	361			
計		1,168	計		1,276

費目・用途 （「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載）	I.(社)沖縄県糖業振興協会			J.		
	費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
		全て100万円未満				
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

D.製糖事業者

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	宮古製糖多良間工場	製品(含蜜糖)の標準的なコストと製品の販売価格の差に充当	200		
2	北大東製糖	急激なコスト低減が困難な条件の厳しい離島の製造コストと標準コストの差に充当	149		
3	久米島製糖	環境対策及び省エネルギー対策に資する製糖施設の整備	148		
4	波照間製糖	製品(含蜜糖)の標準的なコストと製品の販売価格の差に充当 環境対策及び省エネルギー対策に資する製糖施設の整備	121		
5	翔南製糖	環境対策及び省エネルギー対策に資する製糖施設の整備	111		
6	西表製糖	製品(含蜜糖)の標準的なコストと製品の販売価格の差に充当	89		
7	JAおきなわ伊是名支店	急激なコスト低減が困難な条件の厳しい離島の製造コストと標準コストの差に充当	79		
8	JAおきなわ伊平屋支店	製品(含蜜糖)の標準的なコストと製品の販売価格の差に充当	61		
9	小浜糖業	製品(含蜜糖)の標準的なコストと製品の販売価格の差に充当	54		
10	JAおきなわ与那国営業所	製品(含蜜糖)の標準的なコストと製品の販売価格の差に充当	52		

支出先上位10者リスト

H.製糖事業者

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	JAおきなわ粟国営業所	製造コスト低減、品質の向上、衛生管理の徹底に資する製糖施設の整備	546	5工場 (17工場のうち)	
2	宮古製糖城辺工場	製造コスト低減、品質の向上、衛生管理の徹底に資する製糖施設の整備	398		
3	北大東製糖	製造コスト低減、品質の向上、衛生管理の徹底に資する製糖施設の整備	139		
4	大東糖業	製造コスト低減、品質の向上、衛生管理の徹底に資する製糖施設の整備	99		
5	宮古製糖多良間工場	製造コスト低減、品質の向上、衛生管理の徹底に資する製糖施設の整備	93		
6					
7					
8					
9					
10					